

アジアオセアニアデザインワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月24日 ～2019年07月31日	日本	蔚山大学 蔚山科学技術大学校 キングモンクット工科大学 トンブリ校	・デザイン工学科 ・学部2年生、学部3年生、学部1年生	(芝浦工業大学) 学生28名、TA27名、教員3名 (蔚山大学) 学生16名、教員1名 (蔚山科学技術大学校) 学生15名、教員1名 (キングモンクット工科大学トンブリ校) 学生16名、教員1名	橋田 規子(デザイン工学科)



図1 集合写真

テーマ: 誰でも楽しく詰め替えやリサイクルができる容器とサービスの提案
 生活に密着した容器(飲み物、洗剤、食品類など、多く使われて廃棄されるもの)

提出物:

中間発表

- ①市場調査、事前課題のまとめを模造紙で発表。
- ②グループで取り組む対象容器とその問題点をパワーポイントで報告。

最終発表

- ③発表パワーポイント 容器の提案とそのサービス
- ④デザインモック

- ・テーマは容器のリサイクルについてであり、テーマが身近であったことで、すべての学生が興味を持って参加していた。
- ・事前課題として、各自の容器リサイクルの体験について行動観察のレポートを課したので、スタート時に話題となり、スムーズなディスカッションを促すことができた。
- ・容器の提案だけでなく、その周辺のサービスとして、廃棄からリサイクルのシステム(人や金の流れなども考慮)を考えるように指導した。
- ・SITの学生は、開始時は英語コミュニケーションになれず苦労していたが、徐々に積極的に会話をしていた。TAに英語力のある学生を入れたので、助けになった。

ウエルカムパーティーは、3つのプロジェクトと一緒に実施したので、食べ物が少なかった。



図2 ディスカッション1



図3 ディスカッション2

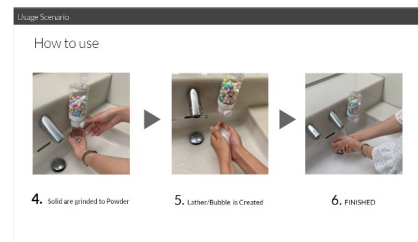


図4 優秀グループの提案